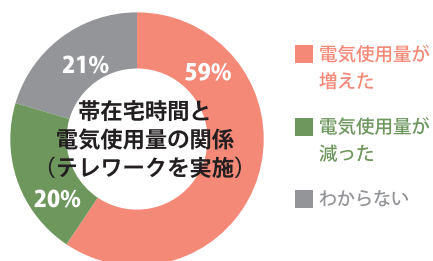


テレワークで上昇する電気代には 太陽光と蓄電池がオススメ！

“緊急事態宣言解除”後も続くテレワーク

宣言が解除されたとはいえ、第2波が懸念されるなか、今後もテレワークを続ける企業も多い。「密」を避けるため、社員全員フルタイム出勤ではなく必要な週の半分だけ出勤などシフト制を取り入れる企業もあり、着実に新しい生活様式へ移行しています。そんな中、問題のひとつとなっているのが在宅率UPによる家庭の電気代です。

テレワーク家庭の6割が電気代アップ



出典元：株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

使用電力量の増加率は、前年比で平均136%。電気使用量の平均を1kWhあたり27円で換算して電気代に換算すると、**平均1,700円増えている**という結果に。照明や家電、パソコン等電子機器の利用が増えたことが原因と考えられます。これから夏・冬場などエアコン代も気に



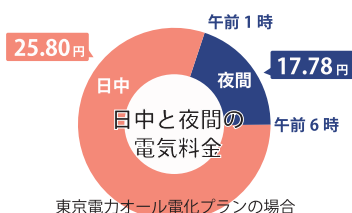
なる季節を迎え、更に電気代が高くなる事が予想されます。テレワークを実施していない家庭でも、解除後も外出に抵抗があると感じている方も多く、在宅率も高くなり電気代の負担がのしかかります。

エアコンを使用してプラスで増える電気代の例 / 月
8畳用エアコン 1日9時間運転時 **+ 3,000円前後**
夏・冬場にエアコンを使用した場合を想定

太陽光 + 蓄電池で上昇する電気代を節約できる！

日中の電気料金が高い時間帯こそ自家消費！

テレワークは、電気代の高い日中の電気消費率が高くなります。太陽光があれば、日中の消費電力を太陽光発電でまかなう事ができるので、在宅ワーク中にUPする電気代も節約する事ができ、更に太陽光で作った電気は蓄電池に貯めておけるので、雨の日等、発電量の少ない日でも安定的に電気を利用する事が可能になります。



東京電力オール電化プランの場合

オール電化プラン料金の場合、夜間は安くても、日中は高い！この時間帯に在宅ワークで使う電気を太陽光発電で自家消費する事でメリットを最大限に生かすことができます。

卒FITを迎える住宅は特にメリットが大きい！

FIT期間が終了すると売電価格が大幅に下がる為、今後の対応を迷われている家庭も多い。しかし、太陽光で作った電気を売るよりも、ご自宅で使う方がお得な“今”、テレワーク等で自家消費率を高めるほど、よりメリットが大きくなるといえます。更に、**蓄電池は昼間に使い切れなかった余剰電力を貯めて夜間に利用したり、割安な深夜電力を貯めて電気料金の高い日中に使うことで、効率よく電気代を節約する事ができ、卒FIT対策としても蓄電池はオススメです。**



普段は電気代節約に、停電時は在宅避難で「三密」回避

新型コロナウイルスの感染が続くなか、災害発生時に避難所での感染をどう防ぐかが課題となっています。避難所は「三密」の条件がそろいやすく、国や各自治体に対し対策を求めている。避難所ではなく車や親戚、友人の家、また自宅での安全が確保できる場合には在宅避難を呼び掛けている自治体も多い。

停電の場合、蓄電池があれば電気に困ることがなく生活できるため、避難所へいく必要がなくなります。特にお子様やお年寄りがいる家庭であれば、夏場の熱中症対策や冬場の寒さ対策ができる空調などを維持できるだけの電力確保 (蓄電池) は、これからの住宅の基本性能といってよいのではないのでしょうか。



台風19号による避難所の様子 (長野市)